



第40回

鉄構塗装技術討論会 開催のご案内

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

協賛（予定）（一社）色材協会（公社）土木学会（一社）日本橋梁建設協会
（一社）日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会（一社）日本鉄鋼協会
日本塗装技術協会（一社）日本塗料工業会（公社）腐食防食学会
（一社）日本防錆技術協会（一財）日本塗料検査協会
（公財）スガウエザリング技術振興財団

■本討論会は土木学会認定 CPD プログラムです。



[認定番号：JSCE17-0746]

米国のトランプ大統領の就任、英国のEU離脱など大きな変動要因が生じましたが、仏国大統領選で極右政権が阻止されるなど、世界経済に大きな影響を与える出来事が続きました。

我が国の経済は、緩やかに景気回復してきており、輸出は緩やかに回復し、鉱工業生産も回復が継続しており、今後さらに輸出の回復や公共投資の増加、個人消費の持ち直しにより、緩やかな回復が継続すると予想されています。

2011年に発生した東日本大震災を契機として安全・安心の確保が求められていますが、豊かな自然に恵まれている我が国は、地震、津波、火山噴火、風水害、土砂災害など、厳しい自然災害に取り巻かれています。東日本大震災や昨年の熊本地震からの復興を進めていくなか、南海トラフ巨大地震、首都直下地震などの今後予想される災害に対して防災・減災に取り組むことが必要となっています。

また、我が国では高度経済成長期に整備した社会インフラが一斉に高齢化し老朽化が進んでいます。既存のインフラを利用し続けるために、今あるインフラの機能の向上、補修、補強が重要な課題となってきています。橋梁などの鋼構造物も、耐震補強とともに適切な防食対策を施し長寿命化を目指すことが不可欠です。

各種の防食法がある中で塗装は、鋼材の防錆防食技術として明治以来の長年にわたって適用されてきた信頼性を有しており重要な地位を占めています。今後、さらなる塗料・塗装技術の改善発展が望まれています。このためにも塗装関係者が集まり、技術発表と討論する場として本討論会が活用されることを期待するものです。

本討論会では、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるよう、鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。また、今年度の特別講演として、初日は環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課の古市 哲也氏に「産業廃棄物の処理にかかわる法制度について（仮題）」を、2日目には厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 科学物質対策課の吉澤 保法氏に「改正労働安全衛生法の概要と化学物質のリスクアセスメント」をテーマにそれぞれお話しいただきます。

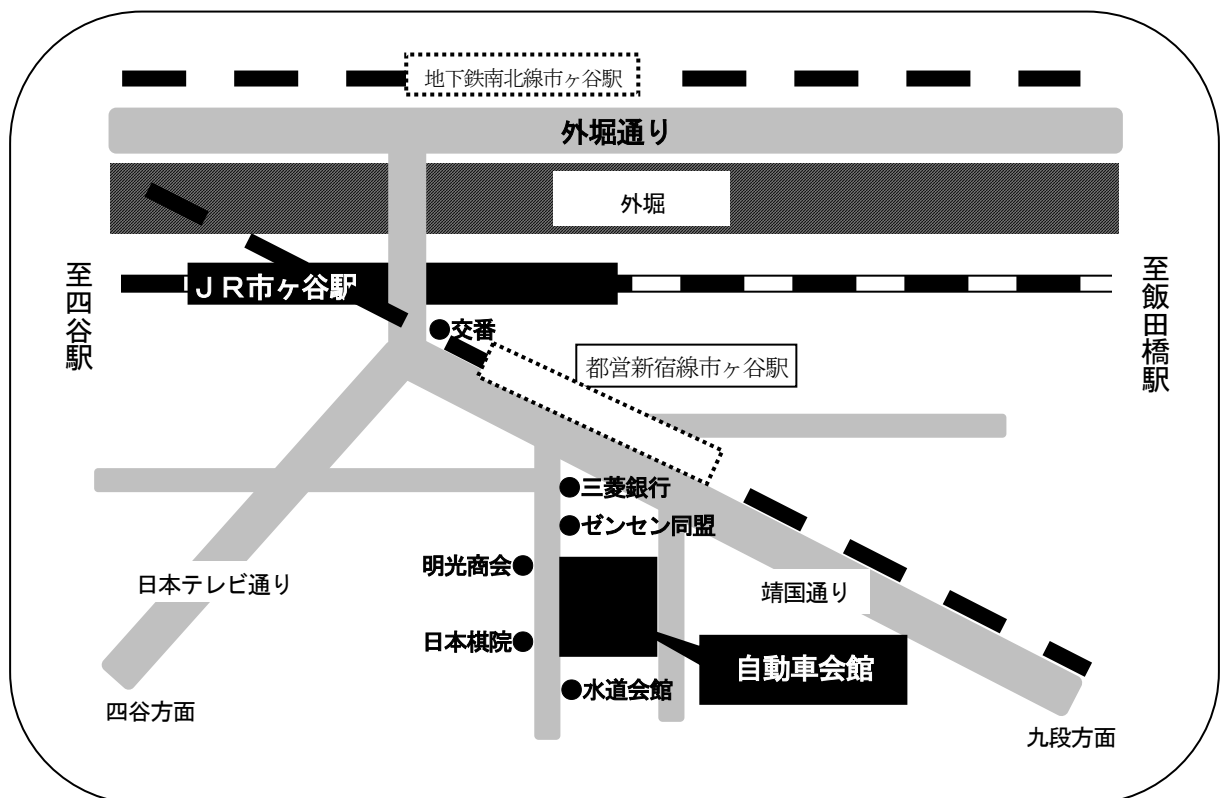
今年度も本討論会へ多数の御参加をいただきますよう、宜しく願いいたします。

鉄構塗装技術討論会実行委員長：守屋 進（鋼構造物塗装小委員会委員長）

開催要領

1. 日 時：平成 29 年 10 月 18 日(水) ～ 19 日(木)
2. 会 場：自動車会館 2階 大会議室
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 (電話) 03-3264-4719
3. 参加費：会員(協賛団体も含む) …10,000 円(消費税、発表予稿集代込み)
一般 …13,000 円(")
学生 …10,000 円(")
4. 申込方法：①メールにて「参加申込書」を添付し、お申込みください。
②本協会で払い込みを確認した後、メールアドレスに「受講証」を送付いたします。
③当日、討論会会場にて「受講証」をご呈示ください。
④申込者が都合により参加できない場合、代理者の参加はかまいません。
⑤申込み締め切りは 10 月 11 日(水)とします。
※お申込み後の参加取り消しおよび欠席者への受講料払い戻しは致しませんので
ご注意ください(討論会発表予稿集を送付させていただきます)。
5. 申 込 先：一般社団法人日本鋼構造協会「第 40 回鉄構塗装技術討論会」係
【 E-mail: jssc-paint@jssc.or.jp 】
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-15-8 アミノ酸会館ビル 3階
TEL. 03-3516-2151

会場案内図



【第1日】 10月18日（水）

9:35~9:45	開会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 委員長：守屋 進（元(独)土木研究所）		
司会：坂本 達朗（(公財)鉄道総合技術研究所）				
①	9:45 ~ 10:15	鋼構造物塗装のVOC削減に関する検討（Ⅱ） -無溶剤形塗料・低溶剤形塗料の適用性検討 （その6）-	○田代 稔 （神東塗料(株)）	富山 禎仁（(国研)土木研究所） 藪見 尚輝（大日本塗料(株)） 佐野 真（関西ペイント(株)） 土屋 克貴（日本ペイント(株)） 齊藤 誠（中国塗料(株)）
②	10:15 ~ 10:45	鋼歩道橋への水性防食塗装仕様の適用検討 -施工7年後の調査結果-	○雲林院 崇宏 （日本ペイント(株)）	浅井 智仁（日本ペイント(株)） 今村 宗夫（日本ペイント(株)） 真田 祐介（日本ペイント(株)） 山本 周平（日本ペイント(株)） 西村 泰雄（日本ペイント防食 コーティングス(株)）

<休憩：10時45分~11時00分>

司会：井合 雄一（(株)IHI）				
③	11:00 ~ 11:30	高耐候ふっ素樹脂粉体塗装の応用技術 その2	○瀧川 俊幸 （旭硝子(株)）	早川 和成（旭硝子(株)） 齋藤 俊（旭硝子(株)） 笹原 大輔（旭硝子(株)） 高柳 敬志（旭硝子(株)） 木村 武久（(株)トウベ）
④	11:30 ~ 12:00	架空電力設備における ポリエステル系塗装部材の経年劣化	○市場 幹之 （東京電力HD(株)）	久留須 寛之（東京電力PG(株)） 遠藤 秀樹（東京電力PG(株)）

<昼休：12時00分~13時00分>

特別講演 （司会：守屋 進（前掲））				
13:00~14:00	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を 改正する法律の概要		環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長補佐 古市 哲也	

<休憩：14時00分~14時15分>

司会：富山 禎仁（(国研)土木研究所）				
⑤	14:15 ~ 14:45	プラスト事例	○小寺 健史 （プラスト施工技術研究会）	
⑥	14:45 ~ 15:15	実物大の試験体を用いた素地調整方法 に関する研究	○白川 裕之 （(株)高速道路総合 技術研究所）	広瀬 剛 （(株)高速道路総合技術研究所）
⑦	15:15 ~ 15:45	鋼鉄道橋の塗膜除去に対する高周波誘導加熱 の適用性検討	○瀧本 一也 （西日本旅客鉄道(株)）	柿添 智之（西日本旅客鉄道(株)） 中山 太土（西日本旅客鉄道(株)） 坂本 達朗 （(公財)鉄道総合技術研究所） 廣畑 幹人（名古屋大学大学院）

<休憩：15時45分~16時00分>

司会：齊藤 誠（中国塗料(株)）				
⑧	16:00 ~ 16:30	委員会報告 鋼構造物塗装のQ&Aの発刊について	○坂本 達朗 （(公財)鉄道総合技術研究所）	
⑨	16:30 ~ 17:00	委員会報告 鋼構造物塗膜調査マニュアルの改訂について	○富山 禎仁 （(国研)土木研究所）	

◆17時00分 ~ 19時00分 **懇親会**（場所：2F小会議室）

【第2日】 10月19日（木）

司会：江成孝文（建設塗装工業株）				
⑩	9:45 ～ 10:15	塗料用ふっ素樹脂の技術的歴史と今後	○笹原 大輔 （旭硝子株）	高柳 敬志(旭硝子株) 齋藤 俊(旭硝子株) 江畑 志郎(旭硝子株)
⑪	10:15 ～ 10:45	これまでの40年、これからの40年 －鋼道路橋塗装に関する課題と取組み－	○片脇 清士 （(同)管理技術）	

＜休憩：10時45分～11時00分＞

司会：山内健一郎（大日本塗料株）				
⑫	11:00 ～ 11:30	実環境における塗膜の吸水・乾燥挙動を考慮した 複合サイクル試験	○三輪 貴志 （日本電信電話株）	石井 梓(日本電信電話株) 竹下 幸俊(日本電信電話株)
⑬	11:30 ～ 12:00	塗膜への紫外線及び吸水による劣化に対する 分光老化試験機を用いた解析	○渡辺 真 （(公財)スガウエザリング 技術振興財団）	屋間 健史((公財)スガウエザリ ング技術振興財団) 大塚 健太((公財)スガウエザリ ング技術振興財団)

＜昼休：12時00分～13時00分＞

特別講演			（司会：守屋進（前掲））	
13:00～14:00	改正労働安全衛生法の概要及び 化学物質のリスクアセスメント	厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課 化学物質国際動向分析官 吉澤 保法		

＜休憩：14時00分～14時15分＞

司会：中村宏之（日本ペイント株）				
⑭	14:15 ～ 14:45	塗膜面の洗浄及び部材角部面取りの効果 に関する報告	○平野 晃 （(一社)日本橋梁建設協会）	前田 博((一社)日本橋梁建設協会) 湯浅 実((一社)日本橋梁建設協会) 高橋正和((一社)日本橋梁建設協会)
⑮	14:45 ～ 15:15	耐候性鋼橋梁の塗装による補修方法に関する検討 －水洗レス工法効果検証－	○落部 圭史 （日鉄住金防蝕株）	橋本 凌平(日鉄住金防蝕株) 佐野 大樹(日鉄住金防蝕株) 秋田 悠太(日鉄住金防蝕株) 今井 篤実(日鉄住金防蝕株) 増田 清人(大日本塗料株) 水場 翔大(大日本塗料株) 高木 優任(新日鐵住金株) 長澤 慎(新日鐵住金株)

＜休憩：15時15分～15時30分＞

司会：田代稔（神東塗料株）				
⑯	15:30 ～ 16:00	高摩擦有機ジンクリッチペイントの開発	○鎌田 由佳 （大日本塗料株）	堀田 裕貴(大日本塗料株) 松本 剛司(大日本塗料株)
⑰	16:00 ～ 16:30	フレーク顔料入り塗膜の環境遮断性能に関する 研究	○井合 雄一 （株IHI）	赤嶺 健一(株IHI)
16:30～16:40	閉会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 幹事長：齊藤 誠（中国塗料株式会社）		